

保 釈 請 求 書

平成〇年〇月〇日

福岡地方裁判所第〇刑事部 御中

被 告 人 △ △ △ △
弁 護 人 ☆ ☆ ☆ ☆

上記被告人は、頭書被告事件について勾留中のところ、以下の理由により保釈を請求する。

請求の理由

第1 罪証隠滅の可能性の不存在

被告人は、本件公訴事実を認めている。

検察側からも本件公訴事実に関する証拠の開示はなされており、捜査は終了している段階である。したがって、被告人には、罪証隠滅をはかる具体的な可能性はもとより抽象的可能性すら存在しないものである。

第2 逃亡の虞の不存在

保釈許可の有無の実質的判断の一つの要素である逃亡の関係については、被告人が妻子を有しており、かつ、実父である△△が身元引受、監督を誓約していることから考えて、あり得ないことである。

第3 保釈の必要性

被告人には、妊娠中の妻と幼い子供（1歳）がおり、現在、被告人が長期間勾留されていることから、妻子は経済的にも精神的にも不安定な状態におかれている。したがって、被告人の支えが必要である。また、被告人逮捕の新聞報道によって、被告人の子供が近隣住民から誹謗中傷を受ける等しており、妻子は自宅を売却し、引っ越し予定である。かかる状況のため、被告人は自宅売却の諸手続、引っ越し作業などを早期に行う必要がある。

第4 制限住居と身元引受人

制限住居は、被告人の実父の住所である

〇〇〇〇

とされたい。

身元引受人は父の△△である。

以 上

添 付 書 類

1 身元引受書

1 通